

計画名: ライフサイクル全体で温室効果ガス排出削減効果を有する建設分野向け非焼成セラミックスの開発と事業化

■主たる研究等実施機関: 株式会社喜多村(岐阜県)

■共同研究等実施機関: 国立大学法人名古屋工業大学、学校法人中部大学

■アドバイザー: 地球村研究室

住宅メーカー、土木建築会社他

■川下事業者: 住宅メーカー、土木建築会社

■事業管理機関: 公益財団法人岐阜県産業経済振興センター(岐阜県)

■主たる技術: 複合・新機能材料

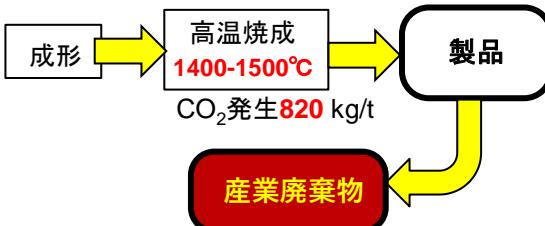
■研究開発概要:

温室効果ガス削減目標である2013年比マイナス46%に向け、排出量の1/3を占める建設分野での脱炭素化の取り組みが不可欠である。本研究開発では、非焼成で製造時のエネルギー削減と、高断熱性能による使用時の省エネ効果に加え、水平リサイクルにより環境負荷を削減する革新的な低炭素建材を開発する。またライフサイクルアセスメント(LCA)により温室効果ガス排出量を算定し川下ユーザーに対してその効果を提供する。

【従来技術】

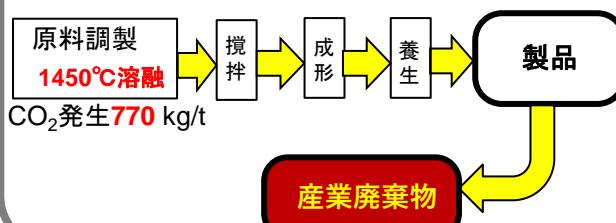
従来技術の課題・問題点に関するイメージ図

<従来セラミックス>



高熱を使用するプロセスからのCO₂発生
リサイクル不能による産廃化

<ポルトランドセメント>



【新技術】

非焼成セラミックスのメリットの、イメージ図

<非焼成セラミックス>

